



江戸時代の村絵図（須賀川市立博物館所蔵遠藤家文書1388-2）

歴史資料学講座

江戸時代史入門

2025年

9月15日① 「支配のしくみ：領主制とは何か？」

10月13日② 「武士の仕事」

11月10日③ 「村役人の仕事」

各回

13:30-15:30

会場：三鷹市生涯学習センター ホール

講師：荒武 賢一朗

（東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門教授）

お申込詳細は裏面をご覧ください

【主催】公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 三鷹市生涯学習センター

【住所】〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階

【電話】0422-49-2521 【HP】<https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>



これからも、ともに
30th Anniversary



荒武 賢一郎

東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 教授

1972年京都市生まれ。関西大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。日本学術振興会特別研究員PD、関西大学文化交渉学研究拠点COE助教を経て、2012年より東北大学准教授、2021年より現職。日本近世史専攻。

おもな著書に『屎尿をめぐる近世社会—大坂地域の農村と都市—』（清文堂出版、2015年）、『みちのく歴史講座 古文書が語る東北の江戸時代』（共著、吉川弘文館、2020年）、『仙台藩の組織と政策』（共著、岩田書院、2025年）などがある。

◆ 9月15日(月) 「支配のしくみ：領主制とは何か？」

江戸時代には、将軍を頂点とする全国支配体制が確立していました。ただし、領主ごとに地域は分割されて、幕府直轄地・大名（藩）領・旗本領などが存在します。この支配システムについて詳しくご紹介します。

◆ 10月13日(月) 「武士の仕事」

江戸時代の武士について、とくにその職務（仕事）を中心に検討します。戦国時代までの武士は文字通り「軍事」を中心としましたが、戦乱のない時代には何をしていたのか。その疑問から、当時の武家社会や行政機構を考えていきます。

◆ 11月10日(月) 「村役人の仕事」

地域や領主によって呼び方に違いはありますが、江戸時代の村落にはリーダー（名主・庄屋・肝入など）のもと、「村方三役」という百姓たちの代表がいました。彼ら村役人の職務や、村民および領主との関係を紹介しながら、当時の「自治」を考えていきます。

講座詳細

- ◆ 対 象 16歳以上の方
- ◆ 定 員 30人 ※申し込み多数の場合は抽選、三鷹市民優先
- ◆ 受講料 3,000円（全3回）※各回ごとのお申込み、お支払いは不可
- ◆ 持ち物 筆記用具

申込方法

- ◆ 講座申込システム（<https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/>）
- ◆ 往復はがき
1) 講座名、2) 住所、3) 氏名（ふりがな）、4) 年齢、5) 電話番号、6) どこから情報を得たか、7) 返信用はがきに宛先（住所・氏名）をご記入のうえ、〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 三鷹市生涯学習センター『江戸時代史』係までお送りください。
- ◆ 申込期間 7月1日(火)～8月18日(月) 必着（結果通知：8月22日(金)予定）
- ◆ 支払期間 結果通知日から9月7日(日)まで

*生涯学習センター窓口にて事前のお支払い（現金のみ）が必要です。

*講座申込システムでお申込みの場合、ご来館の必要のないクレジットカード決済もご利用いただけます。

*お支払い後の受講者のご都合による受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。